



The Ritz-Carlton, Santiago

リッツカールトンは全世界でグローバルなブランド展開をしているが、驚くことに南米では1軒のプロパティしかない。その唯一のリッツカールトンがチリのサンチアゴにある「The Ritz-Carlton, Santiago」である



英国ブリティッシュの香りが色濃く漂う雰囲気「The Lobby Lounge」。開業は2003年で、新築の比較的新しいホテルだが館内は重厚感溢れるクラシカルな空気が流れる



「The Ritz-Carlton, Santiago」の正面エントランス。落ち着いたブラウンの煉瓦が張られた外壁に身を包み、この市街地に自然体で溶け込んで行んでいる



ドアマンに案内され館内に入ると華麗なシャンデリアが煌めくオーバルのエントランスホールに目を奪われる



メインバー「The Ritz-Carlton Bar」のカウンター席



イギリス発祥の伝統的な総革張りの鉞飾り・ボタン留めのソファ「チェスターフィールド」が印象的な「The Ritz-Carlton Bar」のラウンジコーナー席



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連協会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16



笑顔のフロントクラークがゲストを迎える「The Ritz-Carlton, Santiago」のレセプションデスク

The Ritz-Carlton, Santiago

リッツカールトンは全世界でグローバルなブランド展開をしているが、驚くことに南米では1軒のプロパティしかない。その唯一のリッツカールトンがチリのサンチアゴにある「The Ritz-Carlton, Santiago」である（以下、RC/S）。開業は2003年で、新築の比較的新しいホテルだが館内は重厚感溢れるクラシカルな空気が流れる。一見、大阪のリッツカールトンとさせる様なエレガントなデザインコンセプトで、まさか南米のチリでこの様な正統派のホテルに出会うとは予想していなかった。

RC/Sでの宿泊は是非クラブフロアの客室をお勧めしたい。アーバンコンテンポラリー感覚のラウンジは居心地がよく、フレンドリーなクラブスタッフの気配りが行き届き、ミールサービス、アルコールの提供など秀逸である。このホテルの見所の一つはトップフロアにあるルーフトップ・サンクチュアリプールであろう。ドーム状のガラスで覆われたスタイリッシュな形状で、早朝であれ夜間であれ、いずれの時間もサンチアゴの移り行く都市空間を眺めながらリラックスできる。

RC/Sはスイートを含め205室のゲストルームを擁し、サンチ



The Ritz-Carlton, Santiago



フレンドリーなクラブスタッフがゲストをサポートする「Exclusive Club Lounge」のレセプションデスク



アーバンコンテンポラリー感覚のラウンジは居心地がよく、クラブスタッフの気配りが行き届き、ミールサービス、アルコールの提供など秀逸だ



壁面はダーク調のオークウッド材が張られた重厚なエレベーターホール



アフタヌーンティーが人気の「The Lobby Lounge」



50㎡の広さを持つ「Junior Suite」のベッドルーム。「Exclusive Club Lounge」へのアクセスが付いた優雅な Jr. 스위트である。「The Ritz-Carlton, Santiago」はスイートを含め 205 室のゲストルームを擁し、サンチアゴの新市街にあるビジネスディストリクトに立地している



スパ施設「The Ritz-Carlton Spa」には近未来的な形状のルーフトップ・サンクチュアリプールを用意している。ドーム上段にはトレーニングジムを併設している



ドーム状のガラスで覆われたスタイリッシュな形状のスイミングプールは、早朝であれ夜間であれ、サンチアゴの移り行く都市空間を眺めながらリラックスできる



シッティングエリアはゆったりと広く確保されている



機能的にレイアウトされたバスルーム。バスタブの対面にはトイレとシャワーのブースがある

アゴの新市街にあるビジネスディストリクトに立地している。ドアマンに案内され館内に入ると華麗なシャンデリアが煌めく重厚なオーバルのエントランスホールに目を奪われる。今回は 50 ㎡の広さを持つ「Junior Suite」を紹介したい。シッティングエリアがゆったりと広く確保され、「Exclusive Club Lounge」へのアクセスが付いた Jr. 스위트である。メインダイニング「Estró Restaurant」は「New Chilean Cuisine」を標榜し、コンテンポラリースタイルの店内でモダン・チリ料理が楽しめる。メインバー「The Ritz-Carlton Bar」は英国プリティッシュの香りが色濃く漂

う雰囲気、隣接して「The Lobby Lounge」があり、華やかなアフタヌーンティーで賑わう。スパ施設「The Ritz-Carlton Spa」には近未来的な形状のルーフトップ・サンクチュアリプールを用意している。付属のテラスからチリ市街のパノラマを楽しめ、ドーム上段にはトレーニングジムを併設している。

チリのサンチアゴは政情不安の多い南米にあって比較的治安は良い。なかでも新市街は区画整理がなされ、カフェやブティックが並ぶアート感覚の地域だ。RC/S は落ち着いたブラウン・レンガの外壁に身を包み、この市街地に自然体で溶け込んで佇んでいる。



メインダイニング「Estró Restaurant」は「New Chilean Cuisine」を標榜し、コンテンポラリースタイルの店内でモダン・チリ料理が楽しめる



「Estró Restaurant」に付属したバーカウンター